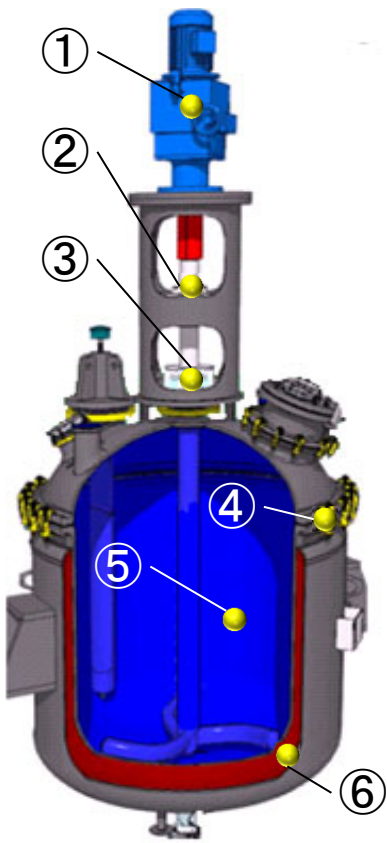




# 日常&定期 点検・診断

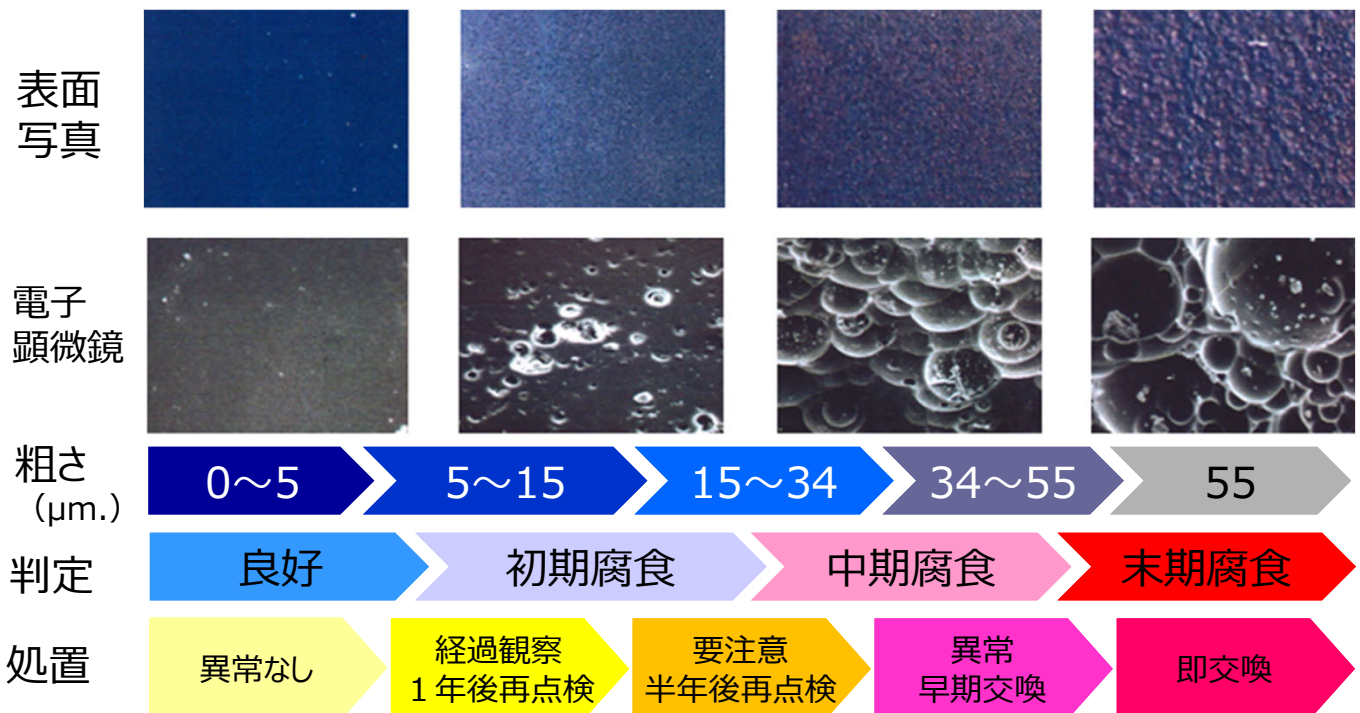


	部位	現象	測定	診断
外部	①駆動部 ②軸受部	音、振動、温度、オイル、グリス	注入量、汚れ	異常判定
	③軸封部	異常な漏れ、音	面圧測定 摺動部面 荒れ確認	交換判定
	④缶体・ ガスケット部	漏れ、錆	切れ、状態	異常判定
内部	⑤ガラス面	割れ、剥れ	厚み測定、 表面粗さ 測定	良否判定 寿命予測
	⑥本体鋼板	—	板厚測定	圧力容器 安全確認

日常点検  
定期点検

・何か変だなと感じたら、速やかにご連絡ください。  
 ・或る日突然、『ガラスが破損した』『鋼板に穴があいた』  
 ということが極力ないように、[定期精密診断を実施](#)ください。

## ガラス表面の化学的腐食レベルの寿命判定



定量  
管理

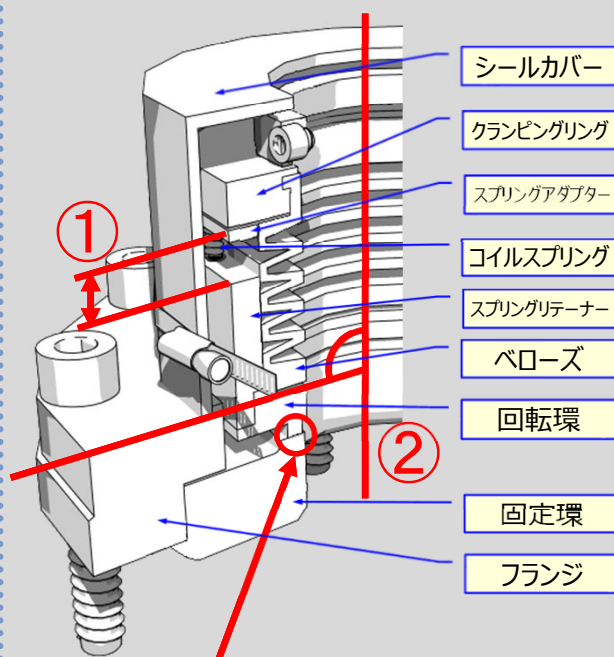
ガラス表面の **粗さを測定** → **寿命予測** → **安定操業** →  
**設備更新計画立案** にお役立てください。

# 軸封部/ドライシール 外観点検

外観写真



断面構造



摺動部漏れ基準値  
( $2N\ell / hr$ 以内)

## 【点検内容】

- ・ ゴミ、異物の付着状況
- ・ スプリングの腐食、隙間の間隔 (以下)
- ・ シールカバー (アクリル) の変色具合

軸封装置の取付状態を見る際の目安

適正な角度で取り付けられているか、また摺動部に均一な面圧が掛かっているかを、スプリングの隙間を測定する事で判断できます。

- ① スプリング隙間 (スプリングリテーナー・スプリングアダプター間)
- ② 固定環と回転環の直角度

メーカーが定めるスプリング隙間基準は以下となります。

正規寸法+1mm以上  
隙間がある場合は、  
新品と交換ください。

シール径 (Φ)	隙間	直角度 (mm)
35	2.85	0.03
55	1.95	0.03
80	3.0	0.035
92	2.0	0.04
120	2.0	0.04
140	3.0	0.04

## 摺動面 漏れ

- ・ 缶内内容物が摺動面付近に付着堆積した場合に、摺動部の異常磨耗、面開き、回転環作動不良により漏れが生ずることが多い。
- ・ 0℃以下の運転の場合は、水分等の凍結により、摺動面が損傷する恐れがありますので、運転前に窒素ガス等で解氷してから運転に入ってください。
- ・ 摺動面は、無潤滑状態で運転されますので、運転中に摺動音が発生することがありますが、異常ではありません。

# モーター・減速機 & 架台部軸受の潤滑油

【参考】

## モーター・減速機 潤滑方式



### 長寿命グリース

充填して出荷、そのままご使用できます。

補給なしで長時間使用可能ですが、20000時間、または3～5年を目安にオーバーホールするとより長寿命となります。

### ・油浴式

抜いて出荷、運転前に必ず給油してください。

### ・油強制潤滑

同上

初回 5000時間または6ヶ月の早い時期

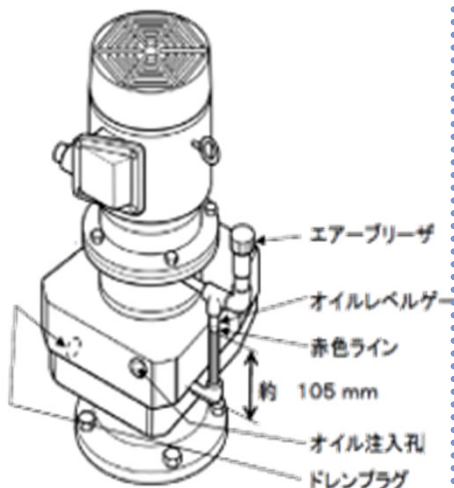
2回目以降 2500時間か6ヶ月後に交換してください。

表 19 標準グリース

周囲温度℃	ニッペコ
-10 ~ 50	BEN10-No.2

表 20 推奨潤滑油（工業用極圧ギヤ油・SP系、JIS K2219 工業用ギヤ油 2種相当）

周囲温度℃	コスモ石油	JX日鉱日石エネルギー	出光興産	昭和シェル石油	エクソンモービル	
-10 ~ 5	コスモギヤ SE 68	ボンノック M 68	ダフニススーパーギヤオイル 68	シェルオマラ S2 G 68	スバルタン EP 68	モービルギヤ 600XP 68
0 ~ 35	コスモギヤ SE 100,150	ボンノック M 100,150	ダフニススーパーギヤオイル 100,150	シェルオマラ S2 G 100,150	スバルタン EP 100,150	モービルギヤ 600XP 100,150



## 架台部軸受

グリース潤滑で、充填して出荷、そのままご使用できます。

初回2500時間後、2回目以降1年後補給・交換してください。

標準：工業用万能グリース

## オイルシール

寿命があり、長時間のご使用で自然劣化や磨耗によってシール効果が低下します。

1～3年程度を目安に交換をお奨めします。

日常  
点検

グリース、油、ベアリング、オイルシール等は、適切な方法、時期に補給・交換して下さい。

## 2、保守・メンテナンス・修理

保守もメンテナンスも機械や設備が正常に動作するよう点検・整備する事が重要です。

お客様に納入させて頂きました機械・装置が故障・停止しないよう、巡回点検サービスを実施しております。

また、故障や停止による緊急修理にも対応しております。

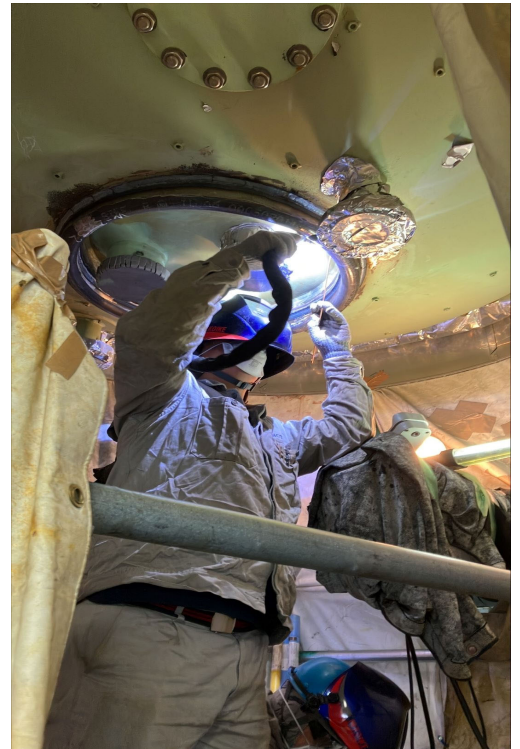
お客様のあらゆるご要望にお応えできるよう、全国の拠点にサービスマンを駐在させております。

### 【保守・メンテナンス】

- ・巡回点検サービス
- ・部品交換などの予測診断

### 【緊急時の対応事例】

- ・ガラス剥離：部分補修等
- ・メカ漏れ：軸封部品交換・面圧調整
- ・ガスケット部からの圧漏れ：ガスケット交換・調整等
- ・ベアリング寿命：ベアリング交換・オイル注入・グリース塗布
- ・母材腐食による穴：パチ当て、部分交換  
(Uリング、ノズルフランジ等)
- ・排出弁からの液漏れ：弁座・消耗品交換、作動調整



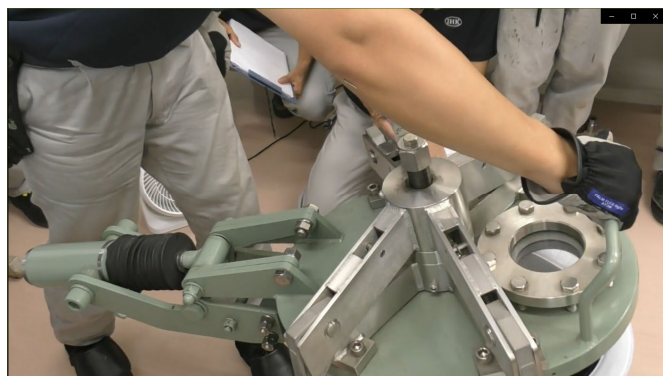
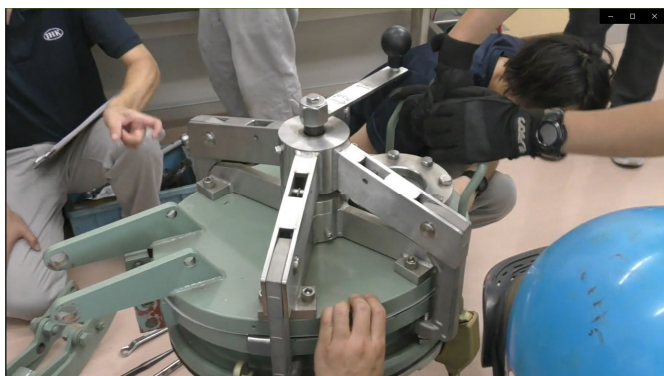
Uリングの交換作業

## 3、設備、機器の更新・改造

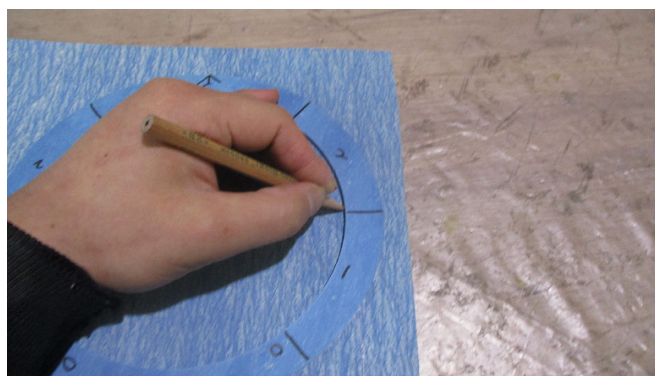
取り扱いが難しいガラス機器やセラミック製品の部品交換、改造、入替工事などを行います。

## 4、その他の活動(技術指導・コンサルタント・講習会)

NGK製品の分解・組立などの御指導、アドバイスを分かりやすく実施します。  
安全に末永くご使用頂く為のメンテナンス講習会も行ってます。



クイッククランプ式マンホールカバーの分解・組立作業指導風景



ガスケット調整作業風景



機器組立作業風景

Step1

点検による診断（点検報告書発行）

Step2

部分補修・部品交換による応急処置

## NGKケミテック株式会社

本社 〒359-0001 埼玉県所沢市下富735番地  
名古屋営業所 〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2番56号  
東京営業所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3丁目1-15 西池袋TSビル10階  
大阪営業所 〒541-0051 大阪市中央区備後町4丁目1番3号 御堂筋三井ビル11階  
徳山出張所 〒745-0034 山口県周南市御幸通2丁目18 徳山駅前218ビル

TEL(04)2942-1185 FAX(04)2942-8180  
TEL(052)872-8595 FAX(052)872-8602  
TEL(03)5391-3631 FAX(03)5391-3635  
TEL(06)6206-5810 FAX(06)6206-5809  
TEL(0834)22-9851 FAX(0834)22-9853

### 注意

本製品は外国為替および外国貿易管理法に定める規制貨物に該当する為、輸出する場合には日本国政府の輸出許可申請等、必要な手続きをお取り下さい。